【別　紙】

**「期生会の積立金の整理」に関する一案**

**「靖國神社みたままつり」の永代献灯について**

**提案者（陸）冨田定幸**

**1.　みたままつりについて**

日本古来の盆行事に因み、昭和２２年に始まった「みたままつり」は今日、東京の夏の風物詩として親しまれ、毎年３０万人の参拝者で賑っている。期間中、境内には大小３万を超える提灯や各界名士の揮毫による懸雪洞が掲げられ九段の夜空を美しく彩っている。

**2.　みたままつりの献灯について**

みたままつりの献灯は、英霊への感謝と平和な世の実現を願って掲げられるもの

・単年初穂料　　　大型１基　　１２，０００円

　　　・永代献灯基金　　大型１基　２００，０００円

※従来の大型・小型永代献灯基金については平成２７年７月１６日受付け分（締切り６月２０日）をもって終了する。

**3.　提案理由**

ルバング島の勇士、故小野田寛郎氏が「日の丸は国旗、君が代は国歌、靖國神社は国の心」と述べられているように、靖國神社は日本国民の心の拠り所であり、日本再生の途は日本国民が靖國神社に参拝し２４６万６０００余柱の英霊に崇敬の誠を捧げ、感謝の気持を示すことにより啓かれるものと思っています。

槙校長はわれわれの卒業式の式辞で「国に尽し、世に役立つ意義ある生涯を」と餞の言葉を述べられましたが、齢傘寿を全員が迎えた今、靖國神社の夏の夜空に「防衛大学校第１期生」の銘記を永代に亘って残すことは、誠に意義のあることであり、卒業生として唯一人、校長秘書としてお仕えし、槙校長が防大卒業生とりわけわれわれ１期生を誇りとしておられたことを直接見聞していましたので、この「永代献灯」は槙校長の私達への餞の言葉にも応えるものであると思っています。

「防衛大学校第１期生」の名を末代まで残したいとの思いから提案しましたものです。

　第１期生各位のご賛同を宜しくお願いします。

**4.　永代献灯銘記（案）**

**永代献灯基金　　２０万円×10=２００万円**

**5.　参考（自衛隊と靖國神社とのかかわり）**

（1）　防衛大学校生は昭和３６年(当時の４学年は第６期生)学生有志１２名が夜間行進で靖國神社参拝を実施以来、今日まで毎年実施している（昨今は参拝学生数５００余名）

（2） 海上自衛隊は遠洋航海に当って毎年靖國神社に出発前儀仗参拝を実施している。

（3） 任意団体「英霊にこたえる会」が毎年実施している「全国戦歿者慰霊大祭」には統幕・陸・海・空幕僚長（代理課長クラス）が参列している。

（4） 靖國神社と友好諸団体で結成している「洗心懇談会」の役員には自衛隊ＯＢ（特に防大ＯＢ）が多く、会合はまるで防大の同窓会会合の様相を示している。

